

「環境影響評価に関するシンポジウム」
 ～スモールアセス、持続可能な開発のために～
 アンケート結果

日時 平成 26 年 1 月 30 日（木） 13：30～17：00
 場所 レソラ NTT 夢天神ホール（福岡市中央区天神 2-5-55）
 主催 環境省九州地方環境事務所

1. 参加者及びアンケート回収数

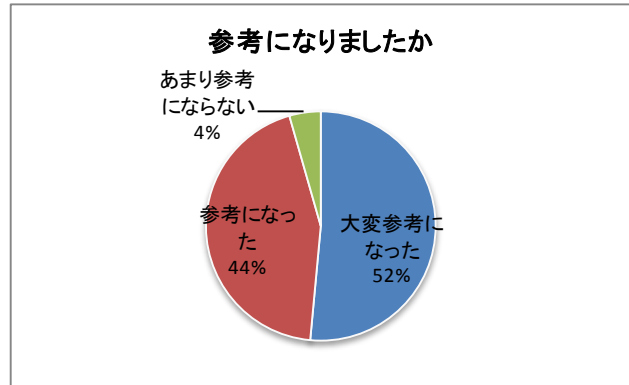
シンポジウム参加者	91 名
アンケート回収数	68 件
アンケート回収率	74.7%

2. 各講演について

【基調講演：持続可能な社会の作法、簡易アセスメント】

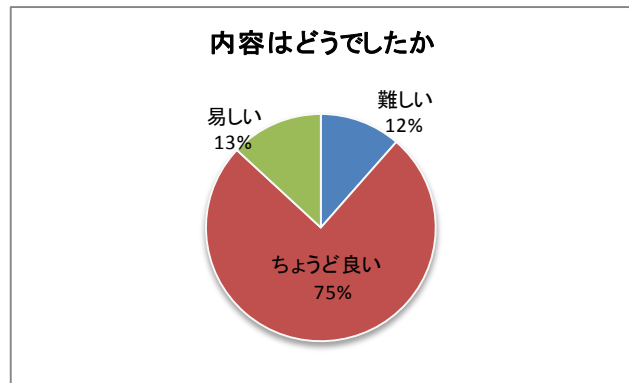
参考になりましたか

項目	回答数
大変参考になった	35
参考になった	30
あまり参考にならなかった	3



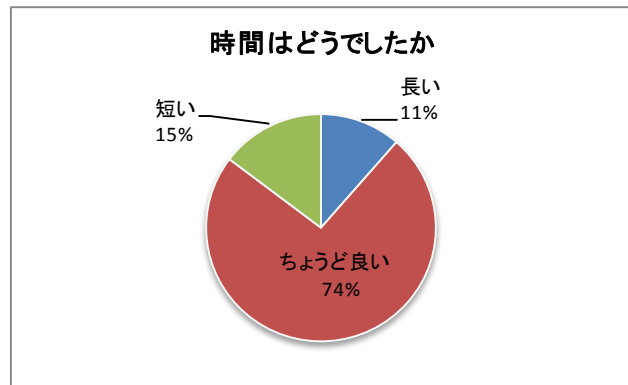
内容はどうでしたか

項目	回答数
難しい	7
ちょうど良い	46
易しい	8



時間はどうでしたか

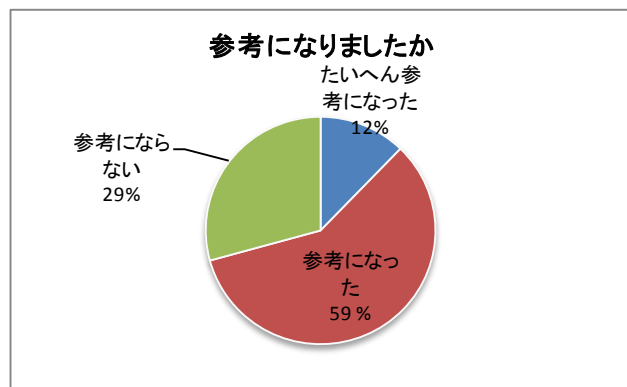
項目	回答数
長い	7
ちょうど良い	45
短い	9



【講演1: サステイナブル都市開発ガイドライン】

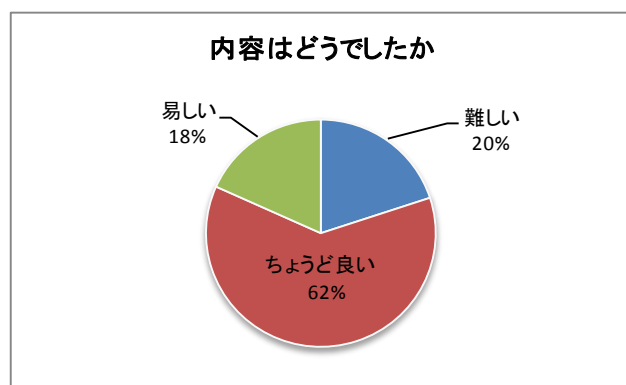
参考になった

項目	回答数
たいへん参考になった	8
参考になった	38
参考にならない	19



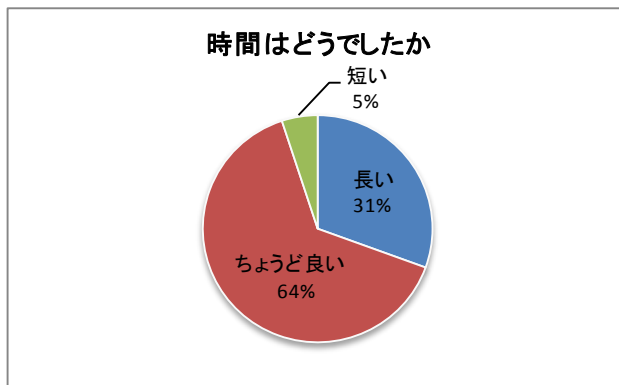
内容はどうでしたか

項目	回答数
難しい	12
ちょうど良い	37
易しい	11



時間はどうでしたか

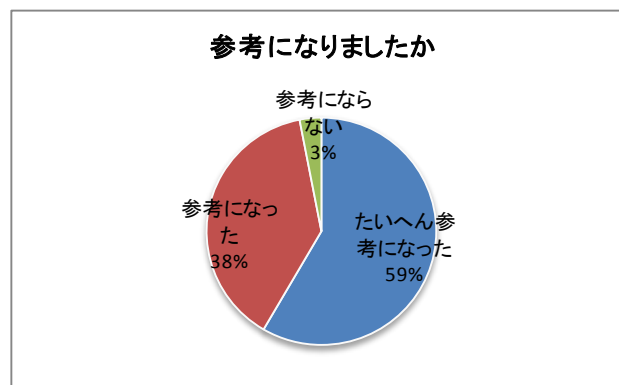
項目	回答数
長い	18
ちょうど良い	38
短い	3



【講演2: 北九州市のすすめる自主アセスとその事例】

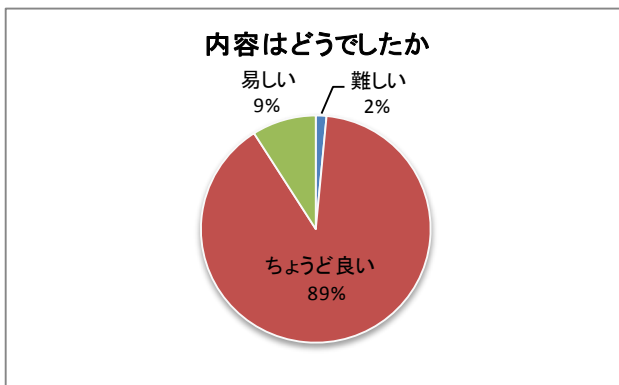
参考になった

項目	回答数
たいへん参考になった	38
参考になった	25
参考にならない	2



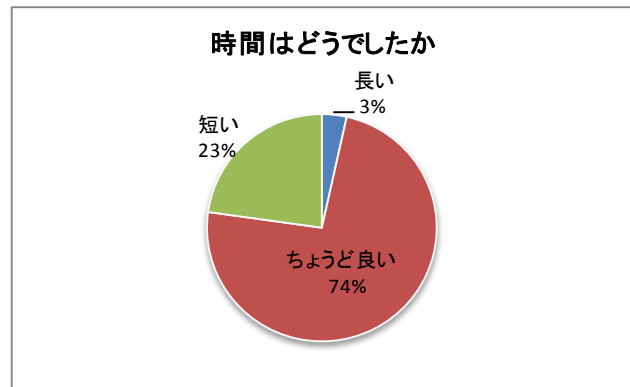
内容はどうでしたか

項目	回答数
難しい	1
ちょうど良い	59
易しい	6



時間はどうでしたか

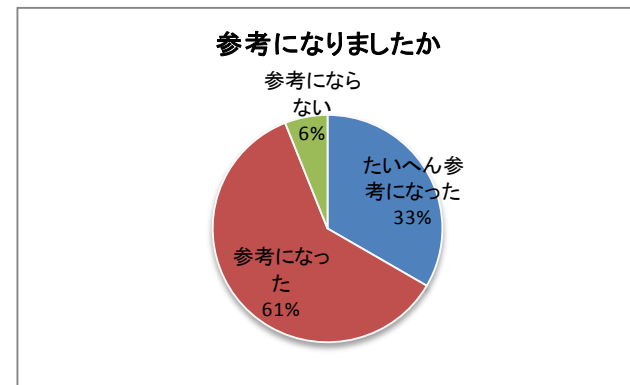
項目	回答数
長い	2
ちょうど良い	42
短い	13



【講演3：建築分野における環境性能評価適用例と地球温暖化性能の評価】

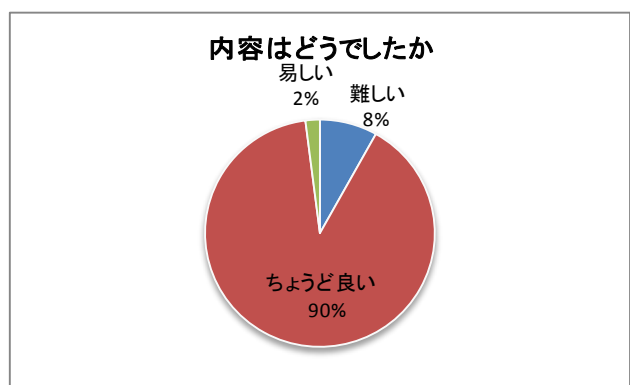
参考になりましたか

項目	回答数
たいへん参考になった	22
参考になった	40
参考にならない	4



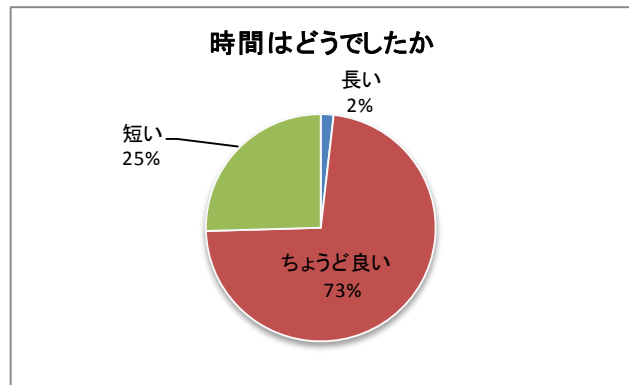
内容はどうでしたか

項目	回答数
難しい	4
ちょうど良い	44
易しい	1



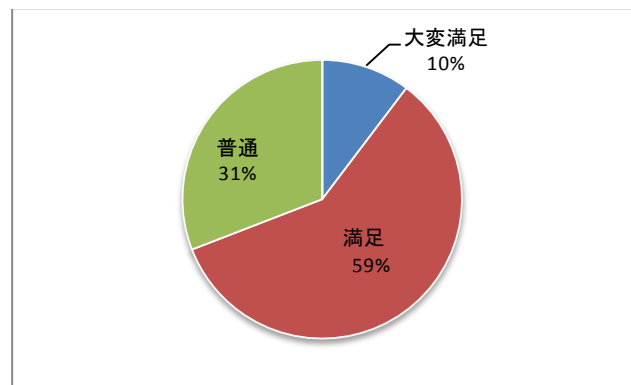
時間はどうでしたか

項目	回答数
長い	1
ちょうど良い	40
短い	14



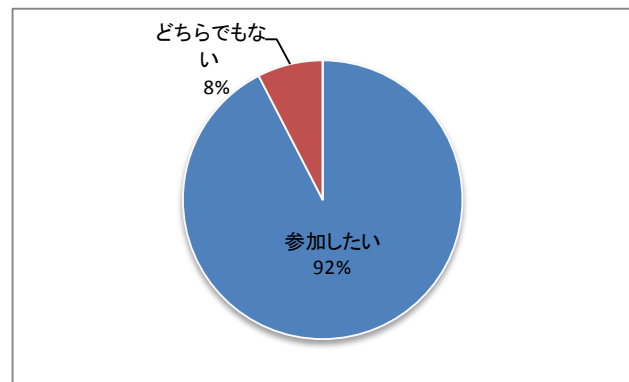
3. シンポジウム全体の満足度について教えてください。

項目	回答数
大変満足	7
満足	40
普通	21
不満	0
大変不満	0



4. 今後も「環境影響評価に関するシンポジウム」に参加したいと思いますか。

項目	回答数
参加したい	61
どちらでもない	5
参加したくない	0



5. スモールアセスを普及するための課題・問題点を教えてください。

【スモールアセスの制度化】

- ・体系を整えつつ制度を整備することで、事業者の意識を向上させること
- ・極端な差異が生じないように、自主アセスで評価すべき項目の選定基準の考え方を示すガイドライン等が必要である。
- ・スモールアセスの制度設計するために、環境、経済、社会の総合評価と国、地方自治体の政策の合意点をどのように導いていくのか、その解析手法の確立が急がれる。
- ・国、自治体における積極的な法制化が必要
- ・事業者負担にならない、事業者のインセンティブとなるようなポジティブな制度が必要
- ・自主的に行われるだけでは普及は望めない。届出制にするなど対策が必要ではないか。
- ・今の制度では事実上スモールアセスの普及は困難と思うので、本当に普及させるのであれば法制度化すべき。

【スモールアセスの審査体制等】

- ・自主アセスの評価の指針や審査側の体制の整備が必要
- ・アセスを審査するといった規制的視野（対立構造）がある限り、理想的姿にはならない。

【事業者のメリット等】

- ・事業者のインセンティブを明示または創出すること
- ・事業者のメリット、デメリットを明確に提示すること
- ・アセスに対する抵抗感をなくす必要がある。事業者はスモールアセスといえども時・金・ヒトのコストを必要とするので、少なくとも大きなリターンがあるという認識が必要
- ・スモールアセスを実施することで事業者が得られるメリットに対する情報が不足している。

【スモールアセスの費用】

- ・スモールアセスにかかる費用の支援
- ・事業者が予算を確保すること
- ・コストが課題にならない評価手法
- ・事業者の計画（費用、時間等）に与える影響が大きい。

【事業者や地域住民の意識】

- ・スモールアセスの普及には、事業者と地域住民の環境配慮に対する意識の向上が必要
- ・難しいもの、煩わしいものとの抵抗感を除く作業が大切
- ・アセスメント自体、世間の関心が低いのではないか。アセスメントでは住民の意見が重要になってくるので、アセスメントの重要性を植え付ける環境教育が必要と考える。

【情報の発信、共有】

- ・事業者が時間、費用を捻出して実施した環境配慮に関して審査機関等が評価をし、その情報発信を

すること。

- ・スモールアセス実施事例の公開を長期的にして情報を共有してほしい。
- ・自主アセスといえども住民との合理的な討論の場は必要である。
- ・情報不足により、簡易、自主的といった用語が氾濫しており、的確に理解されていないのではないか。

【スモールアセスの技術等】

- ・行政担当者のレベルの向上
- ・技術者、コンサルタントの訓練
- ・狭い区域内での環境影響の回避・低減の手法の幅を広げるべき。

【国、自治体への要望】

- ・自治体が自主アセスを誘導する必要がある。
- ・国、自治体、事業者が同じベクトルを向いた取組がポイントになるのではないか。

【スモールアセスのリスク】

- ・事業を断念した方がよいという結果が出たときの対応
- ・民間事業でスモールアセスを実施する場合、企業誘致等においてリスクが懸念される。

【スモールアセスの事業規模、アセス程度】

- ・規格（事業規模やアセスの程度）が分からないことが不安
- ・事業規模に係わらず、特に小規模の事業でもアセスが必要な場合があるはず。
- ・自主アセスに配慮書手続が本当に必要なのか疑問、柔軟に対応すべき。

6. 特に取り上げてほしいテーマについて教えてください。

【スモールアセス】

- ・自主アセスを実施した事業者側からの事例紹介（自主アセスのメリットや課題）
- ・スモールアセスの具体事例や評価の手法について
- ・北九州市の自主アセス事例
- ・ミニアセスについて全国の状況、課題そして課題の解決事例紹介

【計画配慮段階のアセス】

- ・風力・地熱開発に関するアセス期間の短縮等の実務や効果について
- ・洋上風力発電等の配慮書の具体的事例紹介
- ・計画配慮段階での事業者の指針と配慮書の事例紹介

【アセスによる事業計画変更事例】

- ・アセスメントにより大幅な計画変更が生じた事例紹介
- ・配慮書や事後調査における計画変更、順応的管理事例について

【その他】

- ・環境省が考えているアセスの今後の方向性
- ・アセス制度におけるプラスの評価について

7. スモールアセスを普及させるために、環境省九州地方環境事務所に望まれる取組があればご記入ください。

- ・アセスを実施して事業者にとってプラスになった事例の紹介
- ・一般企業や市民向けの講演会やシンポジウムの開催
- ・北九州市のような環境配慮のチェックシートを作成し普及すること
- ・スモールアセス実施による認証制度（ラベリング）
- ・市民サイトへのスモールアセスのアピール
- ・スモールアセスは有効で価値のあるものであり、煩わしい手続ではないということの啓発と実践

(※可能な限りアンケートでいただいた記載のまま掲載しています。)